



いじめや差別をなくす1ヶ月に！

保護者の皆様もご存じの通り、7月は同和問題啓発強調月間です。うきは市の条例（うきは市部落差別をはじめあらゆる差別の撤廃と人権擁護に関する条例）の中に、「市は、市民の人権意識の普及高揚を図るため、関係団体と

連携の上、人権教育及び人権啓発活動を積極的に推進し、人権擁護の社会づくりに努めるものとする。」とあります。御幸小学校では、人権教育・啓発を学校教育の重点のひとつとしています。日々の教育活動について、子どもたちが「自分や友だちを大切にできているか」の視点を常に心がけていますが、特にこの1ヶ月は、全学級で人権に関する公開授業を行い、お互いに参観し合ったり、授業についての意見交換をしたりしながら、子どもたちの人権感覚を磨くとともに、教員自らの学びの場としています。

先週1年生教室では、福岡県教育委員会が作成した同和教育副読本「かがやき」にある「かお」という資料を通して、『友だちの顔をよく見て、その人の気持ちをよく考え笑顔になる言葉をかけよう。』ということ学びました。

5年生は、いじめそのものを扱った資料「名前のない手紙で、『いじめられる側にとって、見ているだけの人もいじめていることと同じ。周りの誰かの勇氣ある行動が、いじめを止めることになる。』』ということ学びました。子どもの感想には、「自分は、いじめている人を直接注意することはできないけど、先生に伝えるなど自分にできることで行動したい。」とありました。

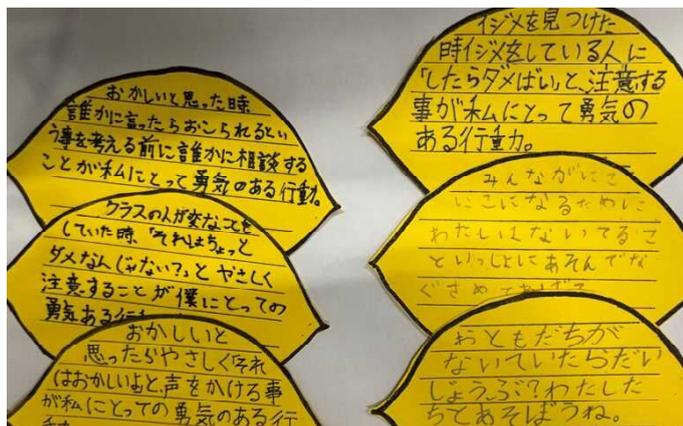
授業後の一人一人の感想については、本年度もひまわりの花びらのカードに書き、中校舎の廊下に児童全員分掲示します。ぜひご覧ください。（現在は、昨年度の感想を掲示しています）

7月は「同和問題啓発強調月間」です。

福岡県では、毎年7月を「同和問題啓発強調月間」として定めています。今年も、県下一斉に部落差別をなくし、一人ひとりの人権が大切にされる住みよい明るい社会を築くために、啓発活動に取り組みます。

今もなお、差別事象が絶えず悪質化している状況において、うきは市民が同和問題の解決を自らの課題としてとらえ、差別を許さない意識の徹底を図るため、各種の啓発行事を実施し、市民をあげて差別をなくす運動を展開するものです。

※昨年度のうきは市講演会のチラシより



このような取組と並行して、6月には全児童に対して、教師と一対一で話をする教育相談を行いました。件数は少ないですが、「友だちからいやなことを…」といった相談がありました。このような相談に対して、私たちは関係している児童に確認を行い、事実であれば、された側の気持ちを伝え、何がいけなかったか、自分が同じことをされたらどう思うか等を考えさせたりしています。

また、この情報を他の担任にも伝え、自分のクラスで同じようなことで嫌な気持ちになっている子はいないか、知らないうちに誰かを傷つけていないか等、確認をしたり指導をしたりしています。この件に関しては、毎回保護者の皆様をお願いしていますが、お子さんに心配な様子があれば、話を聴き、担任にお知らせ下さい。また、逆に人にいやな思いをさせていないか、よくないなと思うことがクラスであってないか、そういうことについても話題にしてください。**全ての子が楽しい気持ちで登校できることを、一番大事にしたいと考えています。**

6/27(木) 大事な「自分の名前」のことで…

みゆきタイムの教育相談で、「自分の名前のことで、いやなことを言われる」という相談がありました。去年も「名前」「体」でいやなこと…ありました。言った人は、ほんのじょうだん、軽い気持ちで、傷つけようとは思ってないかもしれませんが、でも、言われる側になったらどう？しかも何人からも言われたら？

『大事な大事な自分の名前・自分の体のこと』で、からかわれたら、あなたはどんな気持ちになりますか？ぜひ考えてください。



うきは市学童水泳記録会に参加します！

コロナ禍そして災害対応等で中止となっていた記録会が7月21日、5年ぶりに再開します。本校からは、50名近くの児童が参加します。この記録会は、長い歴史をもち、市内の他校の児童と一緒に泳いだり互いに応援したりできる貴重な場です。参加する子たちには、普段の学習のがんばりを発揮してほしいと思います。保護者の皆様、応援よろしくお願ひします。



※平成30年の記録会の様子

うきは市防犯協会から御幸小PTAへ

本校PTAが継続して取り組んでいる活動に防犯パトロールがあります。この活動がうきは市全体の防犯にもつながっていることから、市防犯協会から青色回転灯と防犯パトロールベスト（各7点）をいただきました（西日本新聞にも掲載されました）。子どもたちにも、全校のつどいで「みなさんの安全を守るため、これを付けて、お家の方が見守りをします。」と紹介しています。

ステッカーよりもかなり目立つので、これを付けて巡回することで、見た人は「ああ、この地域は日常的にパトロールしているな。」と思い、これまで以上に、子どもたちの安全や校区全体の防犯につながります。11日の地域委員会で、現在パトロールをしている行政区にお渡ししますので、活用をよろしくお願ひします。



安全面のご指導をよろしくお願ひします

「自転車に乗る子どもが、細い路地から急に飛び出して、あと少しでぶつかる場所でした。」「赤信号になろうとしているのに、横断歩道を走って渡っている子がいて危ないと思いました。」…先月、地域の方からこのような電話がありました。



また、学校帰りに小川に入り遊んで帰ったり、決められた通学路を通らなかったり、寄り道をして帰りが遅くなったりといったこともありました。このようなことが続くと、大きな事件・事故につながります。学校でも繰り返し指導はしていますが、ご家庭でも「あなたの命は何より大事だから、交通ルールや登下校のきまりは必ず守ってほしい。」という話をしてください。